

すすずかけ

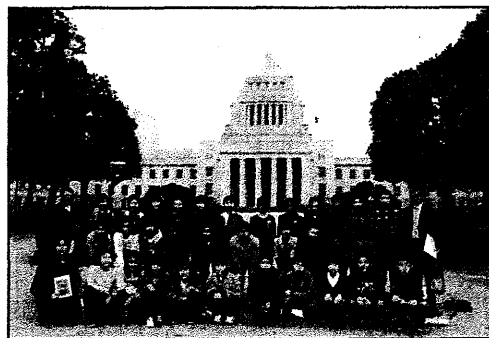
学校便り 12月号
令和元年 11月29日
掛川市立第二小学校

教育目標 『夢に向かって 自分を磨く子』 重点目標 『やさしく伝え合おう 進んでやろう』

覚悟が子どもを成長させる ～6年生 修学旅行～

6年間の集大成ともいえる修学旅行が終わりました。たった2日間でしたが、これまでの学びを生かした場面や6年生の子どもたちの魅力に出会うことが数多くあり嬉しく思いました。

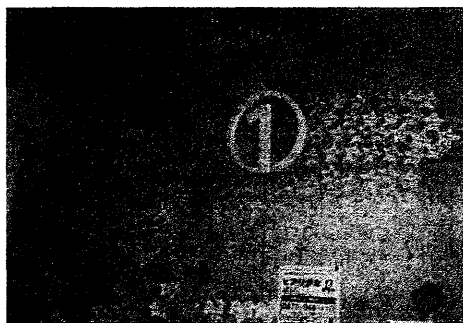
- ・新幹線の中の周りの乗客を気遣った過ごし方
- ・仲間を気遣った振る舞い・出された食事を大切に食べる姿
- ・時間を守ろうという意識の高まり
- ・担任の思いを真摯な態度で受け止め、全員で努力していく姿



雨の中の国会議事堂前

私は班長ではありませんが、少しでも班長に楽をしてもらうためにルールやマナー、モラルを守って判断して過ごすことを頑張りました。また、初めて行った国会議事堂はとても大きくてびっくりしました。社会の教科書で見たとおり左右対称になっていました。参議院と衆議院が平等になるように左右対称になっていることを修学旅行で学ぶことができました。 6年 千愛さんのまとめより

☆☆☆ 自分への挑戦「300周は走るぞ！」 ☆☆☆



持久走大会に向けての練習が11月5日から始まりました。先生方も子どもたちの持久走への意欲を高めようと、体育主任の呼びかけのもと、持久走カードに工夫を施しました。練習した周数を塗り、50周たまると、校長室に持ってきて報告をするといった仕組みです。走ることが得意な子も苦手な子も目を輝かせて報告に来ます。子どもたちに混じって担任も報告に来ると、子どもたちは大喜びです。

南校舎自分への挑戦「挑戦者の星」 報告→ミニ賞状「努力賞」→50周毎に南北校舎の掲示板に名前入りの挑戦者の星が輝きます。「持久走大会は順位付けされ、どうせいい成績が望めない」「苦しい」等の理由で、最初から練習に意欲をもてない子どももいます。来年度、新学習指導要領が本格実施となります。子どもたちに育成したい資質・能力として「学びに生きる知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう人間性」が明示されています。自分へ挑戦することは、その中の「学びに向かう人間性」の部分です。私たち大人が結果にばかり囚われてしまうと、子どもたちは結果に一喜一憂し自信を失うことにつながりかねません。私たちが注目したいのは、順位という結果よりその日に向かってどんな目標を立て、どう取り組んでいるかです。このことは「将来的な生き方や生きる力」につながってくると確信しています。自分に合った目標を立て努力してきた子どもたちは持久走大会後にどんな感想をもつでしょう。また、報告させていただきます。

文責：校長 岡本敦子

市内陸上大会 入賞おめでとう

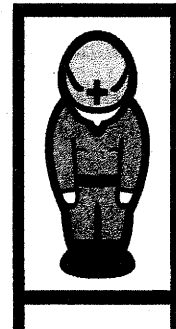
男子 200 m 決勝	秋山伊吹	第 1 位	チャレンジ 女子②	松村芽衣	第 4 位
	杉山泰良	第 8 位	チャレンジ 男子②	堀尾虎之介	第 1 位
女子 4 × 100 m リレー		第 5 位		松井諒大	第 2 位
男子 4 × 100 m リレー		第 3 位		鷺瀧未紘	第 4 位
男子 80 m ハードル	服部 駿	第 3 位	チャレンジ 男子③	山本泰雅	第 1 位
	後藤凪人	第 4 位		宮崎幹輝	第 2 位
女子 100 m 決勝	山内綾夏	第 5 位		中川翔太	第 4 位
	永野玲菜	第 8 位		山梨寛太郎	第 6 位
男子 100 m 決勝	牧野太雅	第 1 位		戸塚礼穂	第 8 位
	白樫向陽	第 6 位			

年末の工事情報

11/25(月)から天竜浜名湖鉄道西掛川駅近くの鉄橋土台工事が始まりました。工事側の歩道が車道側に迂回することになります。交通誘導警備員の指示に従い安全に通行しましょう。

また、12月から大池橋東(南側)の歩道拡張工事が始まります。歩行者用の通路は確保して下さるようですが、交通量の多い県道です。こちらも警備員の指示に従って安全に通行して下さい。

引き続き関係地区の皆様の見守りをよろしくお願いいたします。



特別支援教育だより6

「環境を整えよう」

特別支援教育コーディネーター 松浦 崇

子どもの行動の問題は、「個と環境の相互作用」で生じるといわれています。その子に何らかの困難さがあっても、それが子どもの置かれている環境の中でクローズアップされたり刺激されたりしなければ、何も問題にはなりません。逆に、ほんの些細な困難さであっても、そのことに焦点が当たってしまえば、大きな問題になってしまいます。環境は、子どもたちにとって大事な問題です。

環境といっても空間的な環境だけでなく、時間や人も環境と考えることができます。身の回りの物をすっきりさせることで、学習に集中しやすくなる子がいます。時間の区切りや経過を伝えてあげることで、意欲的に取り組む子もいます。周りの人の働きかけがその子にとって分かりやすいかどうか、大切な視点です。どんな環境が安心できて過ごしやすいのかを本人と一緒に考えることで、支援が見えてきます。環境を整えることが支援の第一歩になると思います。

